



2022 年度 日本医科大学(後期)

【 講 評 】

大問[I]が、4ページに及ぶ英文に関する読解の問題、大問[II]が、発音・アクセント問題3問、語彙問題5問、正誤問題3問の計11問の単語・文法の問題、大問[III]が、大問[I]の内容を踏まえた自由作文であった。昨年度は長文読解の問題が2題あったが、今年は長文読解の問題が1題になったということが、昨年度からの変更点である。昨年度の方が読解問題に用いられた英文の総語数は多かったが、大問が2つに分かれていたために、比較的取り組みやすい問題になっていた。今年は、読解の問題の英文が超長文の1題になり、設問も、問題文の出現順に問うものではなく、しかも、記述の間が増えたために、受験生にとって解きにくい問題になっていたのではないかと考えられる。前期試験では、昨年度から長文読解の問題が超長文の一題になっているが、この傾向は、これからも続くのではないかと考えられる。細かく読んでいると制限時間内には終わらないので、下線部や空所の前後以外は、置き換えや対比を追いながら、趣旨をつかむという読解をすることが必要である。

【 解 答 ・ 解 説 】

[I]

問1 (1) gave (2) focusing (3) builds (4) keep (5) hidden (6) figure

(1) 空所の直後に副詞 in があるので、in とのコロケーションがヒント。意味的には、「ペプソデントの宣伝をしてくれるようにという友人の依頼を断り続けていた Hopkins が、結局、[1]した。」という内容なので、[1]には、「その提案を受け入れた」といった表現が入る。形は過去形。give in 「降参する/(最終的に要求などを)受け入れる」

(2) 空所の直後には on~があるので、on とのコロケーションに注目する。しかし、選択肢の中で on と結びつくのは、bring on~, build on~, carry on~, depend on~, focus on~, look on~ と多い。In [2] on tooth film が文頭に置かれているのは、この表現が前の情報と関係があるからである。(英語では、「前と関係ある情報は文頭に移動する傾向がある」というルールがあることは覚えておこう。)

直前に、

I resolved to advertise this toothpaste as a creator of beauty. To deal with that cloudy film.

「私は、この歯磨き粉を美を生み出す製品として広告しようと決めた。つまり、その濁った膜を広告で取り上げようと決めたのです。」

という表現があるので、[2] on tooth film は、直前の deal with that cloudy film の置き換えであると考え、[2] on tooth film は、「歯の膜を広告で取り上げる」といった意味になるはずである。選択詞の中でこれに一番近い意味になるのは、focus on tooth film (「歯の膜に焦点を当てる」) である。空所の前には、前置詞 In があるので、前置詞の後に置かれる動詞の形である動名詞形にする。

- (3) 空所の直後に副詞 up があるので、up とのコロケーションに注目すると、選択の中では、bring up, build up, clear up, give up, keep up, look up, use up がある。前の文では、this same film has always covered people's teeth (「これと同じ膜は、常に、人々の歯を覆っていた。)」と言っているが、The film is a naturally occurring membrane that [3] up on teeth (「その膜は、歯に[3]する自然に発生する膜である」) は、これと同じ趣旨のことを言っていると考えることができる。したがって、[3] up on は、cover と同じような意味の表現であるはずである。この意味に最も近いものは、選択肢の中では、build up on ~ 「~の表面上に蓄積する」である。空所の直前の that は a naturally occurring membrane(3人称単数)を先行詞にする関係代名詞なので、動詞 build は builds になる。

- (4) これも空所の直後に up があるので、選択肢の中では、bring up, build up, clear up, give up, keep up, look up, use up が当てはまる。また、空所[4]を含む文は、so~that…の文である。

There were so many orders for Pepsodent that the company couldn't [4] up

「ペプソデントの注文が殺到し、会社は[4]できなかった。」

so を含む節が「原因」、that 節が「結果」となる構文なので、「ペプソデントの注文が殺到した」ことが原因で、「会社は[4]できなかった」という結果を生んだという意味の文である。この因果関係を考えれば、[4]には「注文に対応する」といったような意味の表現がはいるはずである。keep up には「遅れずについていく、(変化に)迅速に対応する」の意味があるので、keep が良い。

- (5) 空所の前には、be 動詞があり、空所の後には by~があるので、受け身文であると予想できる。hidden を入れると、Your white enamel is only [hidden] by a coating of film. (白いエナメル質は、膜の覆いによって[隠されて]いるだけだ。) となり、意味が通る。
- (6) [6] out why となっているので、[6]には、副詞 out と結びつき、疑問詞節(名詞節)を伴うことができる動詞が入る。この条件を満たすのは選択肢の中では figure だけである。figure out+ (名詞節)「~を理解する」。

問2 ア cue イ reward

The psychology was grounded in two basic rules: First, find a simple and obvious [ア]. Second, clearly define the [イ].

「その心理的戦略は、2つの基本的なルールに基づいている。まず第一に単純で明白な[ア]を見つけなさい。第二にその[イ]を明確に示しなさいというものである。」

この文の[ア]と[イ]に入れるべき語を本文中から抜き出すという問題だが、[ア]と[イ]に関わる表現は、問題文中で複数登場する。

まず、第8段落の第4文と第5文で、

Hopkins had found a cue that was simple, ~. Moreover, the reward, as Hopkins envisioned it, was even more enticing.

「ホプキンスは、キューを出す簡単な手段を見つけた。～さらには、ホプキンスが心に描いたような見返りは、一層魅力的なものだった。」

と述べている。また、第11段落の第2文で、

Though he boasted that he discovered an amazing cue in tooth film, and bragged that he was the first to offer consumers the clear reward of beautiful teeth, ~

「彼は歯の膜がキューを出す見事な手段になると気づいたことを自慢し、美しい歯という明白な見返りを消費者に与えた最初の人物だと自慢したが、～」

と述べている。この文の後でも、cue と reward という言葉が何回が使われている。従って、空所[ア]には cue、[イ]には reward が入る。

- 問3 (1) 誰でも簡単に確かめることができる歯につく膜を、歯磨きが必要だという合図として示し、また、ペプソデントを使った歯磨きの見返りとして歯が白く美しくなると宣伝したこと。
- (2) ペプソデントには舌や歯茎を刺激する成分が含まれていて、消費者たちがその刺激を渴望するようになったこと。

問題文の

Hopkins turned Pepsodent into one of the best-known products on earth and, in the process, helped create a toothbrushing habit

「ホプキンスがペプソデントをこの世で最も有名な製品のの一つし、その過程で、歯磨きの習慣を生むのに役立った。」

について、次の2つを説明する設問である。

- (1) what Hopkins believed was the cause of this

「ホプキンスはこの原因は何だと信じていたか」

- (2) the actual cause, which was unknown to Hopkins

「ホプキンスがわかっていなかった実際の原因」

第10段落第2文以降で、

The key, he said, was that he had “learned the right human psychology.” The psychology was grounded in two basic rules: First, find a simple and obvious [ア]. Second, clearly define the [イ].

「重要なのは、『人間の心理に関わる適切な戦略を学んだ』ことである、と彼は述べた。その心理的戦略は2つの基本的なルールに基づいていた。第一に、簡単な明白な[ア]を見つけて、第二に、その[イ]を明確に示すというルールだ。」

と述べているように、ホプキンスはこの two basic rules が広告を成功させるのに重要だと信じていた。

問の(1)は、この two basic rules に従って、ホプキンスが具体的にどのようなことをしたかを答え

る問題である。具体的な説明は、第7段落後半から第8段落にある。第一のルールに従って行ったことが、「誰でも簡単に確かめることができる歯につく膜を、歯磨きが必要だという合図として提示したこと」であり、第二のルールに従って行ったことが、「歯磨きの見返りとして、歯が美しくなると宣伝したこと」である。

また、第10段落の最終文で、

There's also a third rule that must be satisfied to create a habit — a rule so subtle that Hopkins himself relied on it without knowing it existed.

「また、習慣を生み出すのに従わなければならないもう1つのルールがある。これはとても気づき難いルールなので、ホプキンス自身も存在するなどとは知らずに頼っていたルールだ。」

と述べている。そして、第16段落第1文で、

Cravings are what drive habits.

「渴望が習慣の原動力になる。」

と述べている。これらのことから、習慣を生み出すのに従わなければならないもう1つのルールとは「渴望(cravings)を人々に生み出すこと」であることがわかる。問の(2)は、ホプキンスが気づかぬ間に、人々に生じていた渴望とは何かを答える問題である。この「渴望」の説明は、第13段落に書かれている。

問4 ペプソデントなどの歯磨き粉を使っても、歯の表面につく膜を取り除くことには全く役立たないと一流の歯の研究者が指摘したが、ホプキンスは、歯の表面につく膜を広告に利用することを止めなかった、ということ。

That は、下線部の直前で述べられている内容、

In fact, one of the leading dental researchers of the time said that all toothpastes — particularly Pepsodent — were worthless.

「実際、当時の一流の歯の研究者の一人が、すべての歯磨き粉 — 特に、ペプソデント — は、価値がないと述べた。」

を指すが、were worthless (「価値がない」)は、この場合は、その前の文の didn't do anything to help remove the film (「歯についた膜をとり除くことに全く役立たない」)の言い換えなので、That の内容は、「当時の一流の歯の研究者の一人が、すべての歯磨き粉 — 特に、ペプソデント — は、歯についた膜を取り除くことには全く役立たないと述べたこと。」ということになる。また、his discovery (「彼が発見したもの」)とは、「歯磨き粉を行わせる合図として見つけた歯の表面につく膜」のことを指している。

問5 (い) : 第14段落で、歯磨き粉の刺激成分は、歯の汚れを取る効果はなく、その刺激によって歯がきれいになっていると感じさせる心理的效果があるということが述べられている。この記述と、「歯磨き粉の刺激成分が虫歯を予防する」という選択肢(い)の記述が矛盾するから。

(か) : 第 11 段落で、ホプキンスが行ったペプソデントの広告と同じような内容のものが、それ以前の歯磨き粉の広告にもあったということが述べられている。この記述と「ペプソデントの広告の内容が非常に革新的だった」という選択肢 (か) の記述が矛盾するから。

(あ) 「ホプキンスは、最初にその広告の仕事を与えられた時、ペプソデントを売り込む方法がほとんど思いつかなかった。」

第 4 段落第 3 文と一致。

(う) 「ホプキンスが彼の広告の一部で述べた主張は、専門家によって批判された。」

第 2 段落第 3 文で、『クレオパトラは Palmolive soap を使った』という広告内容に対して、歴史家たちから抗議があった」という趣旨の記述がある。この内容と一致。

(え) 「ペプソデントの広告を行う以前に、ホプキンスは、すでに、広告業で成功を収めていた。」

第 2 段落第 1 文と一致。

(お) 「ペプソデントが初めて売り出された 10 年後には、アメリカ人の過半数が歯磨き粉を使っていた。」

第 9 段落第 8 文と一致。

問 6 c, e

選択肢 a 「彼はペプソデントの広告に登場した。」

b 「彼は新たな歯磨き粉を発明した。」

c 「彼はペプソデントで一儲けした。」

d 「彼は生涯自分の広告について謙虚であった。」

e 「彼は自分の一生についての本を書いた。」

a : ホプキンス本人が広告に出たという記述はない。

b : 第 1 段落で述べているように、ペプソデントという新しい歯磨き粉を発明したのは彼の友人である。

c : 第 10 段落第 1 文で、「私はペプソデントで自ら 100 万ドルを儲けた。」と述べている。この内容と一致する。

d : 第 11 段落第 2 文で、boasted (「自慢した」)、bragged (「自慢した、誇示した」) という動詞を用いて、「ペプソデントの広告で彼が用いた戦略について自慢した」ことが書かれている。従って、「自分の広告について謙虚であった。」という記述は間違いである。

e : 第 4 段落第 3 文に、Hopkins explained in his autobiography (「ホプキンスは彼の自叙伝で説明した」) という記述がある。この内容と一致する。

問 7 a, b, d

a の「瓶ビール」については、第 2 段落第 2 文で、b の「朝食用のシリアル」については、第 6 段落第 2 文で、d の「薬用ドリンク」については、第 6 段落第 3 文で説明されている。また、問題文では、film が「歯につく膜」を意味しており、製品ではないので、選択肢 c の film はダメ。そして、問題文では

ペプソデントという歯磨き粉の話題はあるが、歯ブラシについての言及はないのでeの「歯ブラシ」もダメ。

問8 e

Before Pepsodent was introduced into the market (「ペプソデントが市場に紹介される前には」)に続く文を選ぶ問題。

- 選択肢 a 「人々はセールスマンからデンタルケア製品を買うことがよくあった。」
b 「歯科疾患の問題は、アメリカでは認識されていなかった。」
c 「市場には、他の歯磨き粉は出回っていなかった。」
d 「歯磨き粉にハッカ油やクエン酸が含まれていることが多かった。」
e 「歯磨き粉は、不可欠な家庭用品ではなかった。」

a: 第3段落第6文で、「すでに、多くの家庭訪問のセールスマンが歯磨き粉を売っていたが、そのほとんどが一文無しになっていた。」と述べているし、その次の文でも「ほとんど誰も歯磨きをしなかったので、歯磨き粉を買うものがほとんどいなかった。」という趣旨のことが書かれている。この内容と選択肢aは矛盾する。

b: 第3段落第4文で、「政府が第一次世界大戦で兵士を募集すると、虫歯がある兵士が多く、政府当局は、歯の衛生状態が悪いことが、国家安全上の危機であると言った。」と述べている。このことと選択肢bは矛盾する。

c: 第3段落第6文の内容からも、第11段落第3文以降の内容からも、ペプソデントよりも前に、他の歯磨き粉が市場に出回っていたことは明らかである。したがって、選択肢cは不適切。

d: 第12段落第1文のコロン(:)以下で、「当時の他の歯磨き粉とは違い、ペプソデントの開発者は、クエン酸、そして、ハッカ油などの化学物資を使っていた。」と述べている。このことと選択肢dは矛盾する。

e: 第9段落第7文と第8文で、「ペプソデントが登場する前は、アメリカ人の7%しか薬棚に歯磨き粉のチューブを置いていなかった。ホプキンスの広告キャンペーンが全国に広まった10年後には、その数値は65%まで跳ね上がった。」と述べている。したがって、選択肢eを与えられた書き出しに続けると、

Before Pepsodent was introduced into the market, [toothpaste was not an essential household item].

「ペプソデントが市場に紹介される前には、歯磨き粉は、不可欠な家庭用品ではなかった。」となり、第9段落第7文と第8文と一致する内容になる。

問9 c

There was already an army of door-to-door salesmen selling dubious tooth powders and elixirs, most of them going broke.

「すでに、**多くの訪問販売員**が**怪しげな歯磨き粉や万能薬**を売っていて、**その**ほとんどが、一文無しになっていた。

の them が指すものを答える問題。they(them)は「3人称複数概念を指すという代名詞」としての用法では、①[対応する位置に置かれている]ものか、②[最も近い位置にあるもの]を指す。most of them going broke は、分詞構文に意味上の主語を添えた独立分詞構文という見方ができる。①の[対応する位置]という見方で見ると、an army of door-to-door salesmen が主語の位置にあり、most of them が分詞構文の主語の位置にあるという点で、対応する位置にある。②の[最も近い位置のあるもの]という見方で見ると、dubious tooth powders and elixirs が最も近い位置にある3人称複数概念である。意味的に考えると、most of them going broke (そのほとんどが一文無しになった)と言っているのも、them は「人」を表す概念であるはずである。したがって、them は前の an army of door-to-door salesmen を指すということになる。go broke 「一文無しになる、破産する」という表現を知らないと、答えを1つに絞ることはできない。

問10 d

decline は基本単語である。ただし、①「低下する」と②「断る」という意味があるので文意を考えて訳語を選択すべき単語である。また、decline という単語の意味を知らなくても、

So Hopkins gave his friend's proposal a bit of thought, and then declined. ~ The friend, however, was persistent. He came back again and again, ~

「そういうわけで、ホプキンスは彼の友達の申し出 (=ペプソデントを宣伝してくれという申し出) を [] した。~ しかし、その友達は粘り強かった。何回も彼のところにやって来た。」

という流れを考えれば、declined は「断った」という意味であることは明白である。

問11 c

第6段落第1文で

Throughout his career, one of Claude Hopkins's signature tactics was to find simple triggers to convince consumers to use his products every day.

「彼の広告業者としての経歴を通して、クロード・ホプキンスに特徴的であった戦略の1つが、彼が広告する製品を毎日使うように消費者に説得するための、製品の使用の単純なきっかけを見つけることだった。」

と述べているが、その1つの例がペプソデントの広告である。したがって、

To sell Pepsodent, then, Hopkins needed a trigger [A].

「したがって、ペプソデントを売るために、ホプキンスには、[A] きっかけが必要だった。」

の a trigger [A] は、第6段落第1文の simple triggers to convince consumers to use his products every day と同じ趣旨のことを述べているはずである。選択肢 c を入れると

a trigger [that would justify the toothpaste's daily use]

「その歯磨き粉 (ペプソデント) の毎日の使用を正当化するきっかけ」

となり、simple triggers to convince consumers to use his products every dayと同じ趣旨の表現になる。

問 12 d

comply 「(要求、命令、法令、規則などに) 従う」は基本単語。名詞形 compliance は、すでに日本語の「コンプライアンス」として使われている。しかし、この単語を知らなくとも、第8段落第2文の Telling someone to run their tongue across their teeth, it turned out, was likely to cause them to run their tongue across their teeth.

「舌で歯を触ってみるよう誰かに言えば、その人は、(言われたように) 舌で歯を触ってみる可能性が高いと判明した。」

という内容と、an advertisement could cause people to comply automatically (「広告すれば、人々に自動的に comply させることができる。’) が同じ趣旨のことを述べていることに気づけば、comply automatically は、「自動的に広告の言葉に従う」といったような意味であることがわかる。

問 13 a, d

選択肢 a 「ダイエットに成功した人の過半数が、一日の一定の時間に朝食を食べていた。」

b 「見返りのことばかり考えて、彼らはダイエットを止めてしまった。」

c 「食べ物を切望して、ダイエットを行う人の多くは、ダイエットを止めてしまった。」

d 「ダイエットのゴールを想像することが、彼らがダイエットを続けるのに役立った。」

e 「その研究で、ダイエットを行った者の78%が、30ポンド以上体重が減った。」

a : 第15段落第3文の後半で、「ダイエットに成功した人の78%が毎朝朝食を食べていたが、朝食は、時刻という合図で開始される食事である。」と述べている。選択肢 a はこれと一致する。

b、c : dieters の研究についての記述は、第15段落にしかないが、第15段落では、ダイエットに成功した人についての言及しかない。選択肢 b と c の「ダイエットを止めてしまった」といったような失敗例は、問題文には書かれていない。

d : 第15段落第4文で、「ダイエットに成功した人のほとんどが、ダイエットを続けることの特別な見返りを心に浮かべた。」と述べている。選択肢 d はこれと一致する。

e : 第15段落の第3文で述べられているように、研究の対象者の全員が、30ポンド以上の減量に成功した人であり、78%という数値は、ダイエットに成功した人の中で毎日朝食を食べていた人の割合である。したがって、選択肢 e は間違い。

[II]

問1 e

- a. cón-test b. ín-sti-tute c. ác-cent d. pró-test e. pro-téct

*contest や protest のように、名詞と動詞が同じスペリングの単語は、名詞の時が前、動詞の時が後にアクセントが置かれる傾向がある。したがって、この種の単語は、品詞がわからないとアクセントの位置が決まらない。設問では、contest も protest も名詞として用いられている。この種の単語として、conduct, progress, increase, decrease, import, export, record, project などがある。

問2 b, e

tríumph の発音は、[tráɪəmf]。したがって、第1アクセントが置かれる母音が[ai] ([アイ]) のものを選ぶ。

- a. óutline : 第1アクセントが置かれる母音は[au] ([アウ])
b. vírius : 第1アクセントが置かれる母音は[ai] ([アイ])
c. médiúm : 第1アクセントが置かれる母音は[i:] ([イー])
d. rísen : 第1アクセントが置かれる母音は[i] ([イ])
e. varíety: 第1アクセントが置かれる母音は[ai] ([アイ])

問3 a, c, d

cleansing の発音は[klénzɪŋ]。従って、[z] ([ズ]) という音を持つものを選ぶ。

- a. hose [hóuz] ([ホуз]) * 発音は[ホース]ではないので注意。
b. loose [lú:s] ([ルース]) * 発音は[ルーズ]ではないので注意。動詞 lose 「失う、負ける」は [lú:z] ([ルーズ])。
c. disease [dizí:z] ([ディズィーズ])
d. housing [háuzɪŋ] ([ハウズィング]) * 名詞 house は[háus] ([ハウス])。動詞 house は[háuz] ([ハウズ])。
e. psychological [saikəládʒikəl] ([サイカラジカル])

問4 (1) e (2) d

(1) 「何かの存在を発見する」

(2) 「お話の中で何かを表したり示したりする」

- a. deduct 「～を差し引く、～を控除する」

- b. defeat 「～を打ち負かす」
- c. delete 「～を削除する、～を消去する」
- d. depict 「～を描写する」
- e. detect 「～を見つける、～を検出する、～を探知する」

問5 (1) d (2) c

- (1) 「何かを強制的に終わらせる行為」
- (2) 時間や順番が続いている何人かの人々やいくつものもの

- a. submission 「提出、服従」
- b. substitution 「代用」
- c. succession 「連続、継承」
- d. suppression 「抑制、抑圧、弾圧」
- e. suspension 「一時的な停止、ぶら下げること」

問6 (1) d (2) b

- (1) 「におい、特に、不快なにおい」
- (2) 「何かが持続する時間の長さ」

- a. despair 「絶望、失望」
- b. duration 「継続、継続期間」
- c. herd 「同種の動物の群れ」
- d. odor 「(くさい) におい」
- e. prey 「獲物」

問7 (1) d (2) e

- (1) 「大きさが小さくなる」
- (2) 「手の平らな部分で誰かを叩く」

- a. conceal 「～を隠す」
- b. penetrate 「～を貫く、突き通る」
- c. preach 「説教する」
- d. shrink 「縮む、縮小する」
- e. slap 「～を平手で叩く」

問8 (1) d (2) a

(1) 「何かに影響される可能性が高い」

(2) 「なめらかではなく、ザラザラした質感・触感がある」

- a. coarse 「粗い」
- b. drastic 「思い切った、抜本的な、(変化が)急激な、劇的な」
- c. frantic 「半狂乱の」
- d. prone 「(悪いことに) 陥りやすい」
- e. trivial 「取るに足らない」

問9 b

Reusable medical devices are devices that health care providers can reuse to diagnose and treat multiple patients, such as surgical forceps and stethoscopes. When using on patients, reusable devices become soiled and contaminated with microorganisms.

「再利用可能な医療器具とは、手術用鉗子や聴診器など、医療提供者が複数の患者を診断し、治療するために繰り返し使うことができる器具のことである。患者に使用されると、再利用可能な器具は、汚れ、微生物で汚染される。」

When using on patients → When used on patients が正しい。When 節内で they(=reusable devices) are が省略されている受け身の文である。他動詞 use の変化形の直後に目的語がないことに注目すべきである。過去分詞句では目的語が1つ消えるというルールは覚えておこう。

Ex. [Seen ● from the sky], the island looks like a banana.

Spanish is the language [spoken ● by a majority of people in this district].

問10 b

To avoid any risk of infection by a contaminated device, reusable devices undergo “reprocessing,” a detailed, multistep process to clean and then disinfect or sterilize them. Adequately reprocessing of reusable medical devices is vital to protecting patient safety.

「汚染された器具による感染のリスクを避けるために、再利用可能な器具は、『再処理』を受ける。これは、その器具の汚れを落とし、それから、それらを消毒・殺菌するきめ細かな、複数の段階からなる過程である。再利用可能な医療器具の十分な再処理は、患者の安全を保つために必要不可欠である。」

Adequately reprocessing of reusable medical devices → Adequate reprocessing of reusable medical devices が正しい。reprocessing が reprocess の動名詞形（準動詞形）と考えると、副詞 Adequately を直前に添えることは可能である（準動詞を修飾する品詞は副詞である）が、その場合

は、reprocess が他動詞なので、後ろの reusable medical devices が reprocessing の目的語ということになり、reprocessing of の of が不要である。したがって、Adequately reprocessing reusable medical device とならなければならない。しかし、問題文では、reprocessing の直後の of は下線部ではないので訂正できない。reprocessing が動名詞形（準動詞形）ではなく「再処理」という名詞であると考え、of が名詞 reprocessing の直後にあることには問題がない。しかし、reprocessing が名詞であるのなら副詞で修飾することはできないので、副詞 Adequately を形容詞 Adequate に訂正しなければならない。

問 11 e

The risk of acquiring an infection from an inadequately processed medical device is relatively low given the large number of such devices in use, although the potential for outbreaks of infection associated with their use remains an important public health concern.

「使用されている器具の多さを考え合わせれば、不十分に処理された医療器具から感染症に罹るリスクは比較的低い。とは言え、そのような器具の使用に関わる感染症の発生の可能性は、重要な公衆衛生上の問題ではあるが。」

given～は「～を考え合わせれば」という意味の分詞構文。

associated with their use は、直前の outbreaks of infection を修飾する過去分詞句。

remains は、the potential を主語にする動詞。

[Ⅲ]

One of the habits which many people think they should adopt but find difficult to adopt is morning jogging. According to the text [I], there are three important things to make something a habit: a simple cue, its reward and a craving. As for morning jogging, a cue and its reward are easy to think of. Morning jogging is an activity that can be cued by a time of day; 6 a.m. or 7 a.m. for example. Its reward is obvious: your health. Jogging every day can improve your heart and lung function and help maintain your healthy weight. So what else you need to make morning jogging a habit is a craving that makes you want to jog every day. To create such a craving, you should set a total distance goal, 100 kilometers for example, and decide what you want to buy when you reach the goal. Wanting to reach the goal and buy what you want, you will jog every day. In this way, morning jogging will become a habit.

Text [I]では、何かを習慣にするためのルールが3つ述べられている。

- ①それを毎日行うきっかけの合図となるもの (cue) を見つける。
 - ②それを行うことで得られる見返り (reward) を明確にする。
 - ③それを習慣的に行わせるために、何かを渴望する気持ち (craving) を生み出す。
- である。この3点が具体的に書かれているかどうか得点のカギである。

お問い合わせは☎0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>